

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.29
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



一般質問が実現しました！



行政評価に「外部評価」を導入

これまで真岡市では、行政の施策や事務事業に対する評価について、市の職員による内部評価だけが行われてきましたが、今年度から市民も参加する『外部評価』が導入されることになりました。

参加する市民は、第10次市勢発展長期計画の原案づくりに携わった25名。『幅広い市民層の参加』という意味では改善の余地もありますが、市民を交えて評価を行うことで、より質の高い行政運営が期待される所です。

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！

お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を！

新たな地場産業の育成に向けて…

6月定例議会・一般質問



6月定例議会の質疑・一般質問が、15日(火)、16日(水)の2日間にわたって行われ、中村は16日の3人目に登壇。計4件の一般質問を行い、執行部の考えをいただきました。

今回、執行部の答弁では、起業家の指導を担当する『インキュベーションマネージャー』を真岡市独自に配置するため、商工会議所の職員に資格を取得するよう働きかけて

いく考えであることを明らかにしました。

こうしたことが起業家支援、ひいては新たな地場産業の育成に大きな効果を発揮ものと思われま

中村が行った一般質問の内容

1. 超高齢化社会に対する取り組みについて
 - (1)公共交通ネットワークについて
 - (2)ノンケア体操などの介護予防事業について
 - (3)ねたきり高齢者等紙おむつ給付について
2. 起業家に対する育成・支援策について
 - (1)今後の施設整備計画について
 - (2)インキュベーションマネージャーの配置について
 - (3)起業家に対する情報提供について
3. 栃木SCとの連携事業について
 - (1)栃木SCの練習拠点誘致について
4. 教育関係の諸課題について
 - (1)青色回転灯搭載車の配備について
 - (2)『生活改善・学力向上プロジェクト』について
 - (3)小学校の学区再編について
 - (4)特別支援教育について
 - (5)教職員の救命研修について

「見逃した！」という方に

バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜28号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。

こちらからお送りさせていただきます。

皆様のご参加ありがとうございました！

第6回 市政報告会を開催

5月25日(火)午後7時から、大谷公民館にて『第6回 中村かずひこ市政報告会』を開催し、市内から35名の方々にご参加をいただきました。

報告会では、過去3年間の活動内容や今後取り組もうとしている政策課題、そして現在特に力を入れて訴えている『議会改革』について説明をした後、参加者と約2時間にわたって意見交換を行いました。

皆様から当日いただいたご意見は、今後の議会活動の中で活かして参りたいと考えております。本当にありがとうございました。



次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は

10月24日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひと議会レポート

6月定例議会 一般質問

答弁者：井田 隆一 市長
 酒井 勲 教育長
 中村 勝博 健康福祉部長
 田中 修二 教育次長

1. 超高齢社会に対する取り組み について



質問 真岡市は今年1月に市民3,000人を対象に『公共交通に関する市民アンケート』を実施した。それによれば、公共交通サービスを確保する政策に約9割が賛成し、特に**交通弱者の足の確保に絞って行うべき**という意見が約6割に達している。今年度中に『公共交通総合連携計画』の策定を予定しているが、現在の**進捗状況**はどのようになっているのか。

答弁 今年2月に『地域公共交通活性化協議会』を設置し、計画策定に向けて話し合いを行っている。メンバーは、市長のほか一般公募の市民、交通事業者、公安委員会など**25名で構成**されている。今年中に**4回の会議**を行い、各地区での意見交換会、交通事業者へのヒアリング調査等を経て、**今年12月までに『公共交通総合連携計画』を策定したい。**

質問 ノンケア体操などの**介護予防事業**は、高齢者の運動機能改善に大きな効果があることが分かってきた。真岡市では『ふれあい地域づくり事業』のメニューに取り入れ、各地区への普及を図ってきたが、実施しているのは**市内129区(自治会)のうち20区**にとどまっている。今後どのように普及させるのか。各地区にいる**健康推進員に協力を仰ぐ**のも1つの方法と考えるが。

答弁 『ふれあい地域づくり事業』で介護予防に取り組んでいる区のほかにも、ウォーキングやストレッチ体操など独自の活動をしている所を含めると、**56区で健康づくりの運動**を行っている。普及活動については、ノンケア体操などを収録した**DVDを作成し、全区に配布**としたところである。今後は**健康推進員の協力**も仰ぎながら、より多くの地区で実施されるよう努めていきたい。

質問 現在、真岡市には**寝たきりの高齢者**を対象とした**紙おむつ給付制度**がある。しかし、この制度は**要介護と認定後6ヶ月**が経過しないと、**おむつ券が給付されない**ことになっている。寝たきりとなった本人や家族の視点に立てば、より早い対応が必要ではないか。

答弁 身体障がい者の認定時期や、介護保険で要介護の認定後見直しを行うのが6ヶ月と定められている。これは、症状が固定する目安として6ヶ月かかると考えられているためである。真岡市の紙おむつ給付事業もこれに準じた基準で実施されているが、**介護現場の実態を見極め、給付開始の時期を検討**していきたい。

2. 起業家に対する育成・支援策 について



質問 真岡市における**起業家支援施設**は、荒町の歯科医院だった建物を活用して平成15年に開設された『MOP21』がある。この施設の**貸借期間があと2年で終了**するが、今後の施設整備についてはどのように考えているのか。

答弁 今後の施設整備については、**現施設の契約延長の可能性を検討**するとともに、現在の**入居者のニーズを把握**しながら、商工会議所と協議していきたい。

質問 起業家に対する指導・相談を担う『インキュベーションマネージャー』を市独自に配置することはできないのか。確かに、栃木県産業振興センターにもいるが、月1回の巡回指導だけでは余りに不十分と言わざるを得ない。例えば、**商工会議所の職員などが資格取得**をし、それを市が補助するようになれば、他市よりもはるかに**低コストで人材確保**ができると思うが。

答弁 現在、栃木県産業振興センターの中に専門知識を有した『インキュベーションマネージャー』が配置されているが、**起業家支援の必要性**は今後**ますます高まるもの**と考えている。そのため、**商工会議所の職員が資格取得**をし、起業家に対する指導・支援ができる**体制を整えるよう働きかけ**をしていきたい。

質問 栃木県産業振興センターが、起業についての相談は年間2,000件あり、不況の今日も起業しようと考えている栃木県民は非常に多い。今後求められるのは**市レベルで起業熱を喚起する政策**を打ち出すことと考える。**起業セミナーの開催**や**市立図書館のビジネスコーナーを充実**させることにより、起業をしようとする市民の掘り起こしに努めてはどうか。

答弁 現在、市立図書館にはビジネスコーナーを設け、起業家が必要とする情報を提供している。また、起業セミナーの開催については、栃木県産業振興センターなどが講座を開設している。今後、**地元でのセミナー開催の要望が多い場合**には、**商工会議所に働きかけ**てまいりたい。

3. 栃木SCとの連携事業 について



質問 栃木SCは、昨年悲願であったJリーグ昇格を果たしたが、専用グラウンドやクラブハウス、選手寮など**練習拠点が未整備**であることが課題となっている。今、真岡市内を見渡すと**遊休状態の公共施設**がいくつか存在しており、**コンピュータ・カレッジ**も閉校後の活用方法が明確になっていない。**こうした施設を活用**し、栃木SCの**練習拠点を誘致**して『マザータウン』になることを目指してはどうか。

答弁 真岡市では、栃木SCとの連携事業として平成20年度から『真岡市民デー』や『子どもサッカー教室』を開催している。練習拠点については、天然芝のグラウンド造成やクラブハウス、選手寮などの施設整備が必要であり、**多額の経費を要する**。そのため**誘致については考えていない**。

4. 教育関係の諸課題 について



質問 通学路の安全対策を目的とした『青色回転灯搭載車』の配置は、市長の公約の中でも目玉政策の一つである。昨年度2台配置されたのに続いて、**今年度は市内5地区**に1台ずつ配置されることになった。そうした中、『**運転手は各小学校区で探してほしい**』との突然の申し出が教育委員会からあり、**学校やPTAが困惑**するということがあった。地域住民に協力を求めることになった理由は何か。また、今後のスケジュールは。

答弁 これまでも地域住民にはスクールガードや防犯ボランティアなどで協力を得てきたが、**子ども達の更なる安全確保のために、点から線の取り組み**が必要と考えている。これまで、青少年健全育成連絡会やPTAに対して協力依頼・説明を行ってきたが、**パトロールの実施そのものに反対意見はなかった**。実施時期については、6月下旬に各地区で講習会を行った後、**7月下旬にはパトロールを開始**していきたい。

質問 山口県山陽小野田市や兵庫県小野市では、子ども達の生活リズムの見直しと基礎学力の向上を図る『**生活改善・学力向上プロジェクト**』に取り組み、大きな成果を収めている。一方、**真岡市では『真岡市の教育』と題したクリアファイル**を全校生徒に配布し、生活改善や学習面での基礎基本を重んじるよう呼びかけは行っているようだが、**呼びかけと実践では結果に大きな差**が生じると思われる。真岡市としても『生活改善・学力向上プロジェクト』に取り組んではどうか。

答弁 先頃、**全小中学校を対象に調査**をしたところ、子ども達に対する『**早寝・早起き・朝ごはん**』の啓発活動を**大半の学校で実施**している。また、定期的なアンケート調査を行い、子ども達の生活実態の把握に努めるなどしている。さらに**学習面では地域や子ども達の実態に応じた取り組み**が行われており、現状でも『生活改善・学力向上プロジェクト』と趣旨は活かされていると思われる。

質問 少子化の流れの中で、真岡市内の大半の学校も規模が縮小傾向にある。そうした中、今年2月から**大内、山前、中村地区**で区長やPTA会長を交えて『**小中学校適正規模検討懇談会**』が行われてきた。**各地区からどのような意見**が出されたのか。また、**新教育長**(酒井勲教育長が今年4月から就任)の**方針**は。

答弁 懇談会では、『地区の人口増が見込めないのであれば**統廃合も仕方がない**』『**人数の多い学校から児童を連れて来られないか**』『地域のコミュニティとして**存続してほしい**』など**多くの要望**が出されたところである。教育委員会としては、**今年度から**真岡市全体の望ましい学校のあり方について調査研究を進めるため、『**(仮称)学校の適正規模に関する検討委員会**』を組織し、学校関係者や学識経験者などの意見を参考としながら、より良い方向性を導き出したい。

質問 平成18年度に学校教育法が改正され、発達障がいの子ども達をも対象に含む『**特別支援教育**』がスタートすることになった。その当時から『**通級指導教室**』(普段は一般の教室に在籍している発達障がいの子ども達、一定時間通って指導を受ける教室)の**整備**が課題となっていたが、真岡市内には**真岡東小学校と真岡中学校にしかない**状況である。設置を希望している学校は多いと聞くと、教育委員会はそうした声にどのように対応するのか。

答弁 **国や県における予算**や、専門性を有する**教員の確保**が難しい。そのため、芳賀郡市はもとより栃木県全体としても『**通級指導教室**』は思うように増えていないのが実情である。教育委員会としても、**栃木県市町村教育委員会連合会**などを通じて増設に向けた要望を継続して行っていきたい。

質問 今年2月、市内の小学校で当時1年生だった児童が、給食をのどに詰まらせて重体に陥る事故が発生した。各学校では毎年プール開きのシーズン前に、**教職員対象の救命講習**が行われている。しかし、1時間程度の内容で『**口腔内異物の除去**』などのメニューが**盛り込まれておらず**不十分と思える。消防庁が定めた『**普通救命講習**』は最低でも3時間が必要とされている。講習内容の**見直し**が急務ではないか。

答弁 **今年3月**に**養護教員**を対象として『**口腔内異物の除去**』などについて**講習会**を行い、応急処置の再確認を行ったところである。今後、真岡市に**新たに転入してきた教職員**を対象とした**講習会**を実施するようにしていきたい。

再質問・再々質問・要望



介護予防事業について

質問 介護予防の取り組みは『**ふれあい地域づくり事業**』で行っている区のほかに、**36区で何らかの活動**を行っているとのことだが、**具体的な内容と頻度**はどのようになっているのか。

答弁 各区で健康体操やウォーキング、3B体操などが行われている。**頻度については**毎月行っている区もあれば、年に数回程度の区もあり**バラツキがある**。

質問 年に数回程度の運動が高齢者に効果があるのか疑問に感じる。また、そのような区を含めても、市内129区のうち56区でしか普及が図られていない。そうしたことを考えると、**市としても単なる努力目標ではなく、目標数値を定めるべき**ではないのか。

答弁 何よりも大切なのは、高齢者が表に出ることだと考えている。目標数値については、**今後検討**していきたい。

『インキュベーションマネージャー』の配置について

要望

『**インキュベーションマネージャー**』を**市独自に配置**することについて、前向きな答弁だったことは高く評価したい。分野は違うが『**コラボレもおか(市民活動推進センター)**』が開設されたことにより、市内のNPOやボランティア団体の数は大幅に増えている。このことは**身近な所にアドバイザーがいる効果は極めて大きい**ことを物語っている。ぜひとも、**新たな地場産業育成のためにも、早急に配置**をお願いしたい。

栃木SCの練習拠点誘致について

質問 全ての費用を市が負担することを前提にして結論を急ぐのはいかがなものか。まずは、**球団側へのヒアリング**やJリーグの**他チームの現状調査**など**可能性を見出す行動**はあっていいのではないか。

答弁 企業誘致なども同じことが言えるが、相手から来るのではなく**誘致となれば、市側の負担も大きいもの**となってしまふ。ましてやスポーツ団体となると、選手寮など様々な施設整備が必要になると考える。

要望

ここでできないと諦めてしまうのは、今後真岡市の地域ブランドを確立する上では疑問に感じる。10年後、栃木県で『**サッカーのまち**』と言えば佐野市や矢板市になっている可能性も否定できない。ちなみに現在、**鹿沼市**はバスケットボールの『**リンク栃木ブレックス**』の**マザータウン**として名乗りをあげているようである。ぜひ、**真岡市としても前向きな検討**をお願いしたい。

青色回転灯搭載車の配備について

質問 『**青色回転灯搭載車**』によるパトロールを7月中旬にはスタートさせたいとのことであるが、**住民の理解が得られない**、あるいは**人材が集まらない**地域が出た場合、**どのような対応**をする考えなのか。

答弁 6月14日現在、**各小学校からのボランティア**の参加申し込みが**271名**に達している。今後もより多くの方々に参加していただけるよう、趣旨を十分に説明していきたい。

『生活改善・学力向上プロジェクト』について

質問 **全ての学校**で『**生活改善・学力向上プロジェクト**』に**類似した取り組み**を行っているというが、その結果**どのような効果**が表れているのか。

答弁 **全国学力テストの結果**などのデータが手もとにないので、**後日示**したいと思う。

質問 **山陽小野田市**では『**生活改善・学力向上プロジェクト**』に取り組んだ結果、子ども達の**知能指数**の平均値が**102から111**まで向上している。**真岡市**の取り組みは、それと**同等の成果**が表れているのか。そうでなければ『**生活改善・学力向上プロジェクト**』の導入を検討すべきではないか。

答弁 **山陽小野田市**の取り組みは、**先進事例の1つ**と捉えている。生活習慣をしっかりとさせ、学力向上を図ることは必要と理解しているが、真岡市が**そのまま取り入れる**ということは**考えていない**。

教職員の救命講習について

質問 本来は3時間の救命講習を受けなければ、基礎基本を修得するのも難しいとされている。教職員を対象とした**3時間の講習を実施する**考えはあるのか、ないのか。

答弁 各学校で行われている救命講習の実態を把握し、**消防長とも相談**しながら、**何時間の講習が適切な**のか検討していきたい。

質問 これは、**子ども達の命に関わる問題**であり、ある程度のスピードも必要だ。消防長と相談しながら検討していくというが、**いつまでに結論を出す**のか。

答弁 できるだけ早く結論を出したい。



私の政治活動費

項目	金額	備考
印刷・広告費	1,052,383円	『中村かずひこ通信』発行費(年4回)
ホームページ更新料	145,000円	
書籍・資料購入費	68,299円	D-fileなど
研修参加費	57,300円	清溪セミナーなど
交通費	12,500円	個人視察時の交通費
食料費	5,980円	市政報告会時の茶代など
コピー代	7,120円	
通信費	15,680円	郵送料
文具費	5,956円	封筒、ノート、ファイルなど
家屋費	360,000円	事務所家賃
光熱水費	49,057円	水道料、電気料
その他	3,255円	振り込み手数料など

合計 **1,782,530円**

『政治活動には一体どのくらいお金がかかるものなのか?』この疑問は私が議員になる前から抱いていたものであり、実際市民の方から今も同じような質問を受けることがあります。

そこで、この1年間(平成21年5月1日~平成22年4月30日)にかかった私の政治活動費についてご報告いたします。



コラム むあっぴ

5月25日(火)、私にとって6回目となる『市政報告会』を開かせていただいた。普段議員は行政に対して質問を投げかける立場にいるが、この日だけは質問を投げかけられることになる。正直なところ1年で最も胃が痛くなる日の1つである。

最近の報告会で、参加者から寄せられた質問・意見をまとめてみると、1つの傾向が見られる。市政報告会をはじめた6年前は、行政に対して『あれを造れ!』『これをやれ!』といった依頼的なものが大半であった。それが最近では、同じように行政への不満でも『市民のボランティア活動に対して、行政側が全く理解を示さない』『行政は市民を体のいい“下請け”程度にしか思っていないのでは…』といったもので占められるようになった。

こうした意見は、市民がまちづくりに関わる機会が増えたことを物語っている。『市民と行政の協働によるまちづくり』という言葉が、市の長期発展計画などに盛り込まれて久しいが、明らかに市民側の意識は変わりつつある。

では、協働のもう一方の担い手である行政側はどうであろうか?そんな疑問を改めて抱かせるような出来事が、同じ5月に行われた真岡市PTA連絡協議会の総会で見られた。

今年から真岡市では 通学路の安全確保のために『青色回転灯搭載車』を市内5地区に配備されることになった。それについて教育委員会から総

『協働』って、意外に難しい...
自治基本条例制定の前、もう一度考えよう



会の席上『運転手は、各小学校校区で探して欲しい』という突然の話が出され、出席者が困惑する一幕があった。

『青色回転灯搭載車』の配備は、市長の公約の1つとして位置づけられていたものである。それが、ある日突然『協働の時代だから、汗を流すのは市民!』ということになるのであれば、“むちゃぶり”をされた市民はいい迷惑である(この件についてはありがたいことに、市内から300名近い方々が手をあげたようで、実施に向けて現在準備が進んでいる)。

本当に『協働の時代』というのであれば、誰が、どのようにやるのかという段階から、市民と行政が膝を交えて話し合うべきではなかっただろうか。

『協働』という言葉は非常に聞こえがいい。しかし、ともすると意味をはき違えやすい。少なくとも行政の負担がこれまでより軽くなるような都合のいいものではないはずである。

『協働には一定のルールが必要だ』ということ、これまで度々指摘してきたのは、上記のように『協働』には誤解されやすい危うさもあるからだ。今年度から、真岡市では協働のルールである『自治基本条例』の制定に向けて検討組織を発足させる。1人でも多くの市民、そして行政関係者が関わりながら、ぜひとも協働のあるべき姿を構築できるような条例案を検討していただきたいと願っている。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこ活動日誌

4月	5月	6月
2日 行屋川桜まつり点灯式	2日 『かざぐるまの集い』勉強会	3日 議会運営委員会
3日 大谷地区福寿会総会	3日 栃木ブロック協議会	4日 市役所担当課と接見
4日 守鑑社祭	『憲法について考えよう』(於:大田原市)	宇都宮ブリッツェン市役所訪問に同行
5日 広報もおかの音訳作業 (『ひばりの会』の活動として)	6日 議会運営委員会	6日 『伊夜日子会』奉仕作業
6日 『ひばりの会』定例会	7日 1期・2期議員自主勉強会	7日 あいさつボランティア
8日 真岡中学校入学式	9日 『悠々の会』総会	真岡東小学校救急救命手当て講習会を見学
9日 中村南小学校入学式	明治大学校友会栃木県支部総会	9日 真岡青年会議所例会
真岡地区遺族会総会	あいさつボランティア	10日 市民討議会推進セミナー
10日 大谷地区婦人防火防火クラブ総会	11日 会派間協議	12日 真岡西中学校スポーツフェスティバル
11日 大谷地区『わかば会』総会	13日 臨時議会	15日 質疑・一般質問1日目
13日 真岡青年会議所OB会総会	14日 真岡市遺族会連合会総会	16日 質疑・一般質問2日目(この日、3人目に登壇)
14日 真岡地区戦没者慰霊祭	17~ 日本自治創造学会第1回研究大会	1期・2期議員自主勉強会
栃木ブロック協議会とちぎまちづくり委員会 (青年会議所)	18日 真岡市PTA連絡協議会総会	18日 文教常任委員会
18日 真岡自然観察会会計監査	23日 流山市議会「議会報告会」見学(於:千葉県流山市)	中村東小学校・真岡西小学校などを視察 参議院栃木県選挙区公開討論会 (於:宇都宮市)
真岡青年会議所例会	24日 あいさつボランティア	20日 横峯吉文氏講演会(於:茂木町)
19日 あいさつボランティア	真岡市小中学校校長会・教頭会歓迎迎会	SLの走る街「コットンカップ」野球大会
20日 『ひばりの会』総会	25日 市政報告会	21日 あいさつボランティア
21日 市議会だより編集委員会	議会運営委員会	真岡青年会議所会員拡大交流委員会
23日 熊倉町区長(1区~4区)と意見交換会	市議会だより編集委員会	あいさつボランティア
24日 真岡自然観察会総会	真岡青年会議所長期ビジョン会議	22日 あいさつボランティア
25日 新高会結成20周年記念事業	28日 『やまさわの里』役員会	23日 議会運営委員会
26日 あいさつボランティア	31日 あいさつボランティア	議員協議会
1期・2期議員自主勉強会		6月定例会閉会
28日 栃木県合同慰霊祭		24日 真岡市民会館・二宮文化会館運営審議会
真岡青年会議所例会		26日 コラボレもわか主催視察研修 (茨城県石岡市、ひたちなか市)
30日 1期・2期議員自主勉強会(於:千葉県流山市)		台若総会
		28日 あいさつボランティア